

## 神奈川県鎌倉市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現に向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
1	市内で希望する職場で就労できていると感じる市民の割合 【5.b、8.2、8.3、8.9、9.2、9.5】	2019年 47.2 %	2021年 44.4 %	2022年 44.3 %		2025年 51 %	-76%
2	仕事と生活のバランスがとれていると感じている市民の割合 【8.2、8.3、8.9、9.2、9.5】	2019年 52.5 %	2021年 55.2 %	2022年 55.4 %		2025年 56 %	83%
3	鎌倉市に住み続けたいと思う人の割合【5.1、5.4、5.5、10.2、11.7、17.14、17.17】	2019年 86.9 %	2021年 90.5 %	2022年 91.6 %		2030年 90 %	152%
4	多様性を尊重し、支え合う社会（共生社会）が実現していると思う市民の割合【5.1、5.4、5.5、10.2、11.7】	2019年 52.8 %	2021年 60.2 %	2022年 61 %		2025年 70 %	48%
5	「地域におけるコミュニティ活動（自治会・町内会・NPO活動など）が盛んなまちだ」と感じている市民の割合【5.5、10.2、11.7】	2019年 41.6 %	2021年 69.2 %	2022年 79.9 %		2030年 71.5 %	128%
6	鎌倉市を応援する気持ち（鎌倉市へのふるさと寄附金の額）【5.1、5.4、5.5、10.2、11.7、17.14、17.17】	2019年 743,442 千円	2021年 1,711,271 千円	2022年 2,407,186 千円		2030年 1,800,000 千円	157%
7	豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまちだと感じている市民の割合【11.4】	2019年 83.2 %	2021年 85.6 %	2022年 87.4 %		2025年 85 %	233%
8	豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに市民がみどりとふれあえるよう積極的な活用を図っていると思う市民の割合【11.4、11.a、12.8、13.1、13.3】	2019年 78.4 %	2021年 84.5 %	2022年 86.4 %		2025年 80 %	500%
9	市内のごみの焼却量【7.2、11.4、11.a、12.5、12.7、12.8、12.b、13.1、13.3】	2019年 29,992 トン	2021年 28,483 トン	2022年 22,377 トン		2025年 15,727 トン	53%
10	リサイクル率【7.2、11.4、11.a、12.5、12.7、12.8、12.b、13.1、13.3】	2018年 52.5 %	2021年 - %	2022年 - %		2025年 71.7 %	-
11	公共建築物の耐震化率（災害時の拠点となる施設）【7.2、11.4、11.a、12.5、12.7、12.8、12.b、13.1、13.3】	2019年 96.4 %	2021年 97.6 %	2022年 97.6 %		2025年 100 %	33%
12	文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまちだと感じている市民の割合【11.4】	2019年 63.2 %	2021年 70.9 %	2022年 71.5 %		2025年 69 %	143%

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況（2021年～2023年）

No	取組名	指標名	当初値	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2023年目標値	達成度（%）
1	持続可能な都市経営に向けた取組	市内事業所における従業者数	2016年 68,800 人	2021年 66,970 人	2022年 - 人		2023年 69,600 人	-
		市内事業所数	2016年 7,226 件	2021年 7,050 件	2022年 - 件		2023年 7,310 件	-
		市内で希望する職場で就労できていると感じる市民の割合	2019年 47.2 %	2021年 44.4 %	2022年 44.3 %		2023年 49 %	-161.1%
		鎌倉市に住み続けたいと思う人の割合	2019年 86.9 %	2021年 90.5 %	2022年 91.6 %		2023年 88 %	427.3%
		地域におけるコミュニティ活動（自治会・町内会・NPO活動など）が盛んなまちだと感じている市民の割合	2019年 41.6 %	2021年 69.2 %	2022年 79.9 %		2023年 62.5 %	183.3%
		鎌倉市を応援する気持ち（鎌倉市へのふるさと寄附金の額）	2019年 743,442 千円	2021年 1,711,271 千円	2022年 2,407,186 千円		2023年 1,400,000 千円	253.4%
		豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに市民がみどりとふれあえるよう積極的な活用を図っていると思う市民の割合	2019年 78.4 %	2021年 84.5 %	2022年 86.4 %		2023年 80 %	500.0%
		市内のごみの焼却量	2019年 29,992 トン	2021年 28,483 トン	2022年 22,377 トン		2023年 25,638 トン	174.9%
		リサイクル率	2018年 52.5 %	2021年 - %	2022年 - %		2023年 55 %	-
		市の業務全体から生じる二酸化炭素排出量（エネルギー起源）	2017年 18,874 t-CO2	2021年 - t-CO2	2022年 - t-CO2		2023年 16,709 t-CO2	-
公共建築物の耐震化率（災害時の拠点となる施設）	2016年 96.4 %	2021年 97.6 %	2022年 97.6 %		2023年 100 %	33.3%		

## 神奈川県鎌倉市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年	2022年	2023年	2030年（目標値）	達成度（%）
2	市内事業所における従業者数	2016年 68,800 人	2021年 66,970 人	2022年 - 人		2023年 69,600 人	-
	市内事業所数	2016年 7,226 件	2021年 7050 件	2022年 - 件		2023年 7,310 件	-
	「働くまち鎌倉」「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」の実現 地域で子育てを支えるまちが実現していると感じる市民の割合	2020年 43.3 %	2021年 57.9 %	2022年 51.3 %		2023年 48 %	170.2%
	まちづくりが計画的に進められ、生活しやすい市街地が形成されているまちだと感じている市民の割合	2019年 25.9 %	2021年 35.2 %	2022年 36 %		2023年 27.5 %	631.3%
3	共生社会の実現・共創関係の構築に向けた取組 地域で子育てを支えるまちが実現していると感じる市民の割合	2020年 43.3 %	2021年 57.9 %	2022年 51.3 %		2023年 48 %	170.2%
	就労している障害者数	2019年 1,526 人	2021年 1810 人	2022年 1906 人		2023年 2,000 人	80.2%
	平均寿命と健康寿命の差（男性）	2016年 1.72 歳	2021年 - 歳	2022年 - 歳		2023年 1.68 歳	-
	平均寿命と健康寿命の差（女性）	2016年 3.68 歳	2021年 - 歳	2022年 - 歳		2023年 3.64 歳	-
	消費生活センターに寄せられた消費生活苦情件数	2018年 1,970 件	2021年 1,389 件	2022年 1,444 件		2023年 1,800 件	309.4%
4	鎌倉市の魅力に磨きをかける取組 緑地保全契約の面積	2018年 53 ha	2021年 48.3 ha	2022年 48.2 ha		2023年 53.8 ha	-600.0%
	指定文化財の数	2018年 610 件	2021年 607 件	2022年 608 件		2023年 620 件	-20.0%
	市内における自動車の旅行速度	2017年 18.1 km/h	2021年 -	2022年 17.5 km/h		2023年 20 km/h	-31.6%
	市内から排出されるごみの総排出量	2018年 58,623 トン	2021年 28,483 トン	2022年 - トン		2023年 57,012 トン	-
	リサイクル率	2018年 52.5 %	2021年 - %	2022年 - %		2023年 55 %	-
	市の業務全体から生じる二酸化炭素排出量（エネルギー起源）	2017年 18,874 t-CO2	2021年 - t-CO2	2022年 - t-CO2		2023年 16,709 t-CO2	-
5	市民の安全・安心な生活の基盤づくりに向けた取組 公共建築物の耐震化率（災害時の拠点となる施設）	2016年 96.4 %	2021年 97.6 %	2022年 97.6 %		2023年 100 %	33.3%
	自宅周辺の自然災害リスクを知っている市民の割合	2020年 75 %	2021年 75.3 %	2022年 74.5 %		2023年 95 %	-2.5%

## (3) SDGs未来都市計画推進のKPI達成に係る評価及び課題等

指標の達成に向けて、概ね順調に進行している。昨年度から継続して、「鎌倉市に住み続けたいと思う人の割合」と「鎌倉市を応援する気持ち（鎌倉市へのふるさと寄附金の額）」については上昇の一途をたどっており、市内・市外在住者問わず、鎌倉市に対する愛着が増したことの現れであると認識している。

しかし、他方では、「市内で希望する職場で就労できていると感じる市民の割合」と「地域で子育てを支えるまちが実現していると感じる市民の割合」が前年度から後退しており、行政サービスの不十分さを感じる市民が増加している。特に後退した直接の要因は把握できていないが、今後、ソフト面及びハード面において十分な支援等が行き届くよう、市民のニーズ把握に努め、指標達成並びにさらなる上昇を目指し、取り組んでいく。

達成度がマイナスとなっている指標について、「市内で希望する職場で就労できていると感じる市民の割合」は女性や高齢者、就労困難若年者に対する就労支援を実施しているが、参加者数の伸び悩みが課題となっており、達成率の減は、十分な支援内容でないことの現れであると考え。今後、事業終了後の情報提供や就職相談などのフォローアップの充足に努めていく。「緑地保全契約の面積」について、契約者が緑地整備に係る用地買収に応じたことから減少したもので、買収した土地については、引き続き保全が担保される。今後も土地所有者の意向に沿って新規契約に対応していく。「指定文化財の数」は、指定件数は県及び市指定文化財が国指定に格上げとなる際に複数物件が一括となることあるため、目標値に対して下回ることもあるが、指定件数は安定的に増加している。引き続き調査・研究、指定を進める。「市内における自動車の旅行速度」は、市として短期的な観光渋滞対策として、市内交差点付近にIPカメラや画像認識型交通量観測装置を設置し、リアルタイムの交通量計測を行っているが、様々な取組に対して流入量が減少していないため、車の旅行速度も上がっていない状況である。今後、計測したデータを活用し、市の総合的な交通体系の基本方針を定める「鎌倉市交通マスタープラン」の改定を行い、交通環境の整備に努めていく。「自宅周辺の自然災害リスクを知っている市民の割合」については、災害リスクや避難に関する情報の周知として、全戸にハザードマップの配付、避難所単位で行われる訓練や防災講話を通じて啓発を行っているところだが、今後は一層の機会を捉え、自主防災組織の活動も活用して、取り組んでいきたい。

なお、No.2「まちづくりが計画的に進められ、生活しやすい市街地が形成されているまちだと感じている市民の割合」について、2023年度の目標数値が誤っていたことが判明したため、本表について修正するとともに、計画本体の改正を行う。